



NPO法人ど・あっぷ！ 活動報告

出前授業@横浜市立鴨志田第一小学校

新聞編集者になって新聞を作ろう！

～デジタル機器特集～

2024年7月3日

目次

01 授業のねらい

02 授業レポート

03 まとめ

01 授業の内容、目的ねらい



■ 授業内容の検討

- ・横浜市立鴨志田第一小学校の先生と一緒に、小学校 5 年生向けのメディアリテラシー教育を検討。
- ・但し、そのための授業枠を取ることが難しいとのことで、教科の単元の一部としての実施を検討し、小学5年生の国語の単元「デジタル機器と私たち」の冒頭の時間を使い、実施することとした。

■ 授業の目的

- ・単元に繋げるためのメディアリテラシー教育
(情報の扱い方、気をつけたほうが良い点を理解してもらう)
- ・デジタル機器についての知識習得

01 国語の単元「デジタル機器と私たち」



国語の単元「デジタル機器と私たち」

決めよう
集めよう

- ①グループでテーマを決める。
- ②情報を集める、提案内容を考える。

組み立てよう

- ③提案する文章の構成を考える。

書こう

- ④提案する文章を書く。

つなげよう

- ⑤読み合って、感想を伝える。

本やインターネットで調べたり、身近な人にインタビューしよう。

事実と意見を区別する。

事実：自分たちの体験、調べてわかったこと、
解決したい課題

意見：提案、実現したときの効果



**本単元に取り組むにあたって、本やインターネットでの調べる時の注意点を学ぶ。
(メディアリテラシー)**

「メディアリテラシー」とは、もともと「読み書きの能力」

- ・メディアを主体的に読み解く能力。
- ・メディアにアクセスし、活用する能力。
- ・メディアを通じコミュニケーションする能力。

→インターネットで調べると、偏った情報を集めることになったり、ある一面だけの意見、情報だけを見ることになったりするので注意が必要→そのことを実体験（ワークショップ）で実感する。

02 授業レポート



【日時】2024年7月3日（水）

【場所】横浜市立鴨志田第一小学校

【対象】小学6年1組（4名×6班、24名） 2時限目（9:40-10:25）

2組（4名×6班、24名） 3時限目（10:45-11:30）

【内容】小学6年の国語の「構成を考えて、提案する文章を書こう

テーマ＜デジタル機器と私たち＞」の単元（全4単元）の

最初の時間を使って、子どもたちに新聞編集者になってもらい、班ごとに

＜デジタル特集号＞の新聞を作ってもらうワークショップを実施。

授業構成

STEP
1

【記事理解】
＜デジタル機器＞
の記事の読み合せ

STEP
2

【記事選択】
各自で記事を
3個選ぶ

STEP
3

【記事決定】
編集会議にて
記事、優先順位
を決定

STEP
4

【新聞づくり】
記事カード、写真
カードを新聞台紙に
貼って、新聞を作成

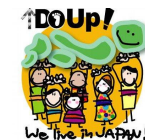
STEP
5

【まとめ】
・見えてない記事
があること。
・ネットにはウソの
情報もあること。

編集長（どあっぷ！メンバー）から、
「こども新聞“特集号”（デジタル機器）」の
新聞制作に協力して欲しい！からスタート。

デジタル機器と上手に付き合う方法を
考えて、編集長に提案をして！で締め。
⇒次の授業に繋げていく。

02 授業レポート



STEP 1

編集長からのお願い
(編集長役の
ど・あっぷ！メンバー)

STEP 2

記事の選択
準備した記事ネタの
中から、個人で新聞
に載せたい記事を選ぶ

【お願い】こども新聞“特集号”の
新聞制作に協力して欲しい

【テーマ】デジタル機器

新聞社の編集者になって、
「デジタル機器特集号」の新聞を作ってみよう！

編集部が集まってきた記事は、コレです。🗨️

1	熊本地震の時に、Twitterで、路上を歩くライオンの画像とともに「動物園からライオンが逃げた」というデマが拡散され、パニックになったことがあった。
2	スマホの機能を使うことで、スマホ所有者（子供）の現在地を親が確認することができたり、出先での迷子対策や防犯対策にも利用することができ、とても便利である。
3	ネットの利用で、情報発信や情報共有が、多くの人へ簡単にできるようになった。その反面、仲間外れやいじめの原因となる問題も発生している。
4	自転車や車の運転中や歩きながらに、携帯電話（スマホ）を操作する、いわゆる「ながらスマホ」による事故が、近年増加している。
5	ある調査では、平日の子どものデジタル機器の利用時間は平均64.5分、保護者の希望時間は平均35.4分だった。保護者の多くは「もっと少なくさせたい」と考える結果となった。
6	スマホやタブレットなどを長時間利用すると、目が疲れやすく視力が低下したり、姿勢が悪くなることで首や肩こり頭痛など、多くの健康被害が報告されている。
7	図書館や映画館などの静かな環境で、スマホの音や光でまわりに迷惑をかけたり、電車やお店などで大きな声の電話をするなど、不注意でマナーを守らない人も増えている。
8	地震などの災害時、携帯電話（スマホ）は家族の安否を確認したり、自分の居場所を伝えることができる。命を守る上で、とても重要なツールとなる。
9	スマホやタブレットを使って、インスタやユーチューブ、TikTokなどで動画を観たり、自分も写真や動画を撮影してSNSに投稿することも簡単にできるようになった。
10	小中学生がスマホやタブレットを使ったゲームで、親に無断で課金していたケースが起っており、国民生活センターは注意を呼びかけている。
【memo】	

02 授業レポート

STEP 3

編集会議

新聞に載せる記事、
掲載の優先順位を
決める

①班の中で、各自が選んだ記事を発表する



②班での話し合いで、新聞に載せる3つの記事を選ぶ
班長は、話し合いで出てきた意見や疑問などをメモに残しておく



③班での話し合いで、3つの記事の優先順位を決める
優先順位1番「トップ記事」(A)、優先順位2番(B)、3番(C)



2024年(令和6年)6月26日(水曜日)

見出し		鴨志田第一新聞
写真 (トップ記事の写真)	A トップ記事 (優先順位1番)	
C (優先順位3番)	B (優先順位2番)	
話し合いのmemo ・記事を選んだ理由や、話し合いで出てきた、意見・疑問・体験・事実・その他		

組 _____
班 _____

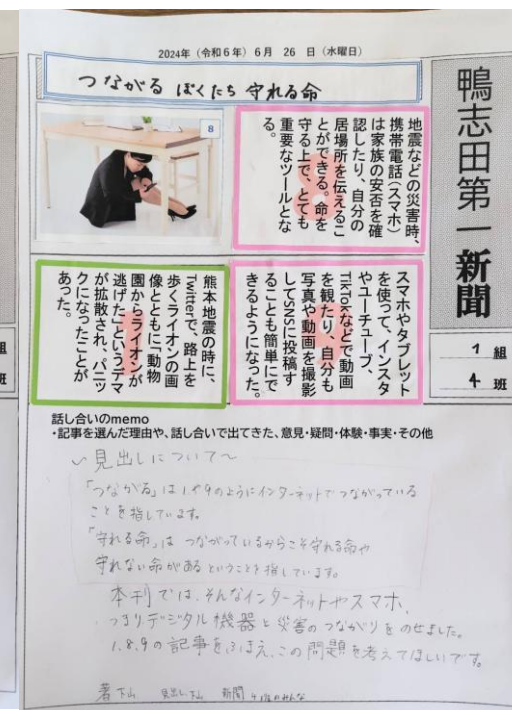
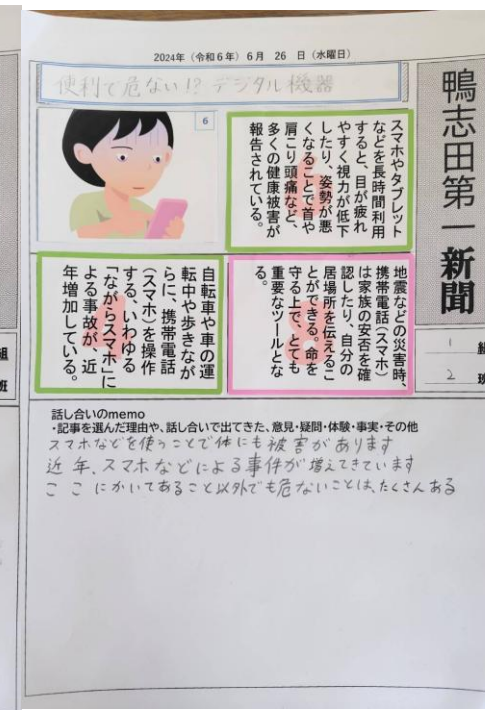
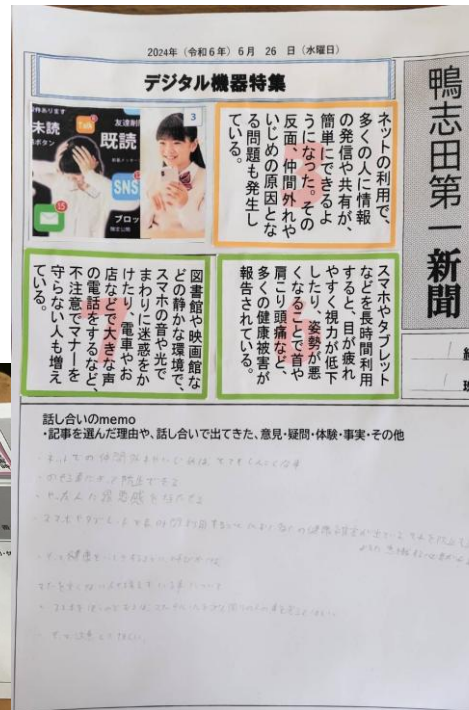
02 授業レポート



STEP 4

新聞づくり

記事カード、写真カードを
新聞台紙に貼って、新聞を作成



- 袋の中に、10枚の記事カードと、それぞれに関連する10枚の写真カードが入っています。
- ① トップ記事の欄には、記事と写真を貼り、優先記事2番、3番の記事を貼ります。
- ② 話し合いで出てきた意見や疑問は「話し合いのmemo」欄に書きます。
- ③ 時間が余った班は、新聞のタイトルを考えて、新聞上部に書きます。

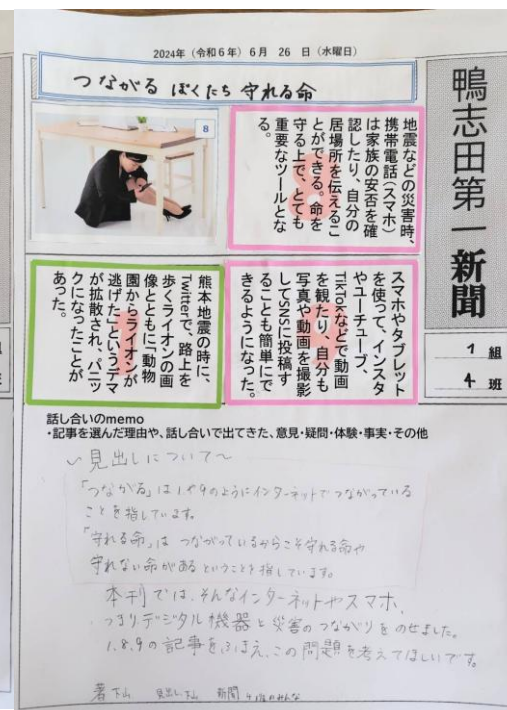
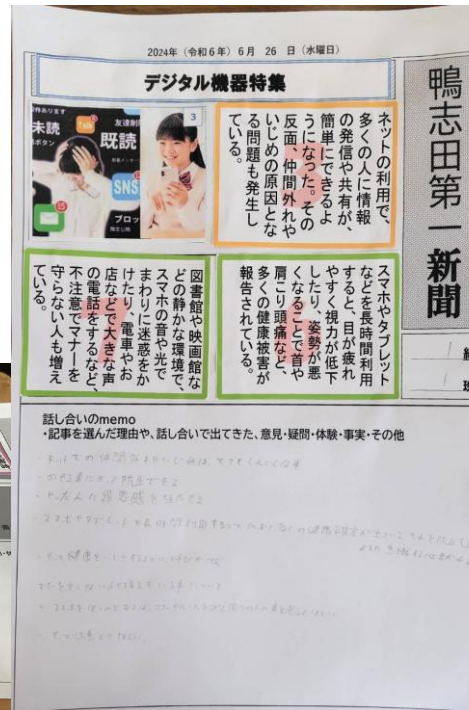
02 授業レポート



STEP 4

新聞づくり

記事カード、写真カードを
新聞台紙に貼って、新聞を作成



- 袋の中に、10枚の記事カードと、それぞれに関連する10枚の写真カードが入っています。
- ① トップ記事の欄には、記事と写真を貼り、優先記事2番、3番の記事を貼ります。
- ② 話し合いで出てきた意見や疑問は「話し合いのmemo」欄に書きます。
- ③ 時間が余った班は、新聞のタイトルを考えて、新聞上部に書きます。

02 授業レポート

STEP 4

それぞれの班で、どの記事を選んだか？

班ごとに、どの記事を選んだかを
前の黒板の模造紙に書いてもらいます。

■ 優先順位 1 番「トップ記事」(A)、優先順位 2 番 (B)、3 番 (C) について、それぞれ何番の記事を選んだか (1 番～10 番) を模造紙の表に書いていきます。



記事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
例			B		A				C	
1 班	C			A			B			
2 班			B			C		A		
3 班	C					B		A		
4 班	C						B	A		
5 班	B			A				C		
1 班			A			C				B

02 授業レポート

STEP 5

【まとめ】

- ・見えてない記事があること。
- ・ネットにはウソの情報もあること。

最後に、皆さんに「知っておいて欲しい事」を話します。



みなさんの作った新聞からわかること

- 同じ10枚の記事カードを使って、新聞を作ったのに、選ばれる記事や順番は、各班によって、違った。
- 採用されない記事もあった。



記事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
例			B		A				C	
1 班	C			A			B			
2 班			B			C		A		
3 班	C					B		A		
4 班	C						B	A		
5 班	B			A					C	
6 班			A			C				B

02 授業レポート



STEP 5

【まとめ】

- ・国語の単元である「デジタル機器と私たち」の提案の授業につなげるべく、次のミッションとして、みんなに提示。
(授業への取り組みのモチベーションアップへ)

デジタル機器と付き合う上で、
色々考える事は多そうだね

実は大人も考え中
そこで...

次のミッションは
コレだ！

デジタル機器と
上手に付き合うために、
良い面・悪い面・課題などふまえ、
どうしたらよいと思うかを考えて、
馬場 編集長に提案せよ！

03 子どもたちの授業への振り返り

質問 1「気づいたこと考えたこと」

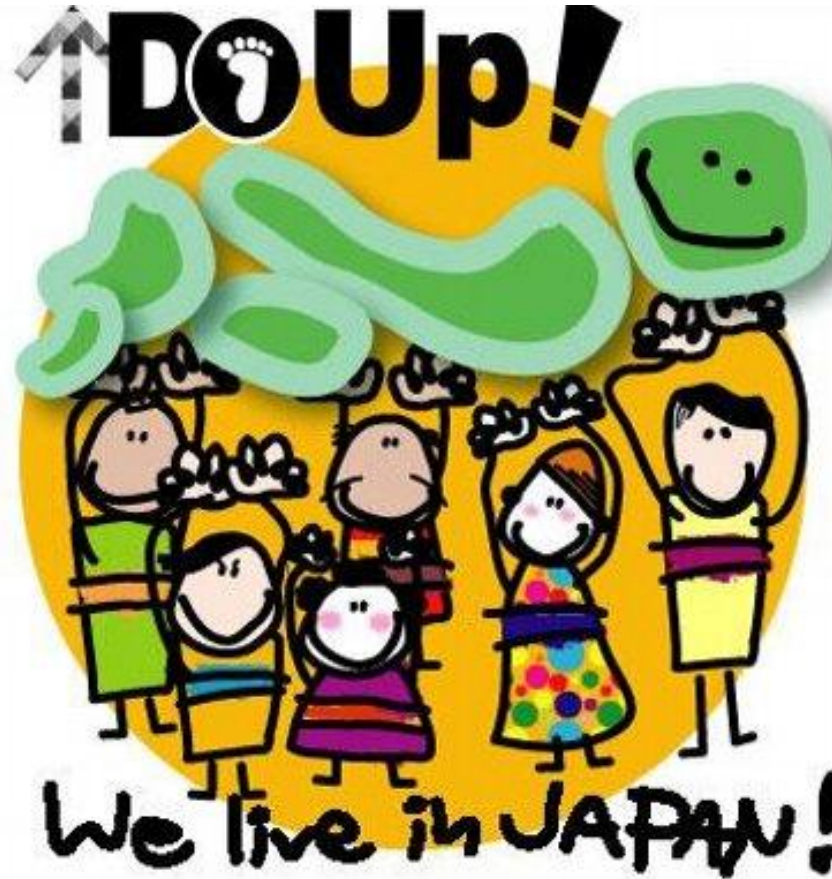
- ・情報全ては信じていけないと考えました。
- ・僕は、機械とのかかわりは上手くやるのがいいと改めてもらいました。
そして、インターネットの情報は鵜呑みにせずに考えてからやるのがいいと思いました。
- ・インターネットには、たくさん問題があることがわかった。その反面便利。
- ・私の考えること、友達が考えること、重要に思うことには大きく異なる、とわかりました。また、新聞も新聞会社によって載せるニュースが大きく異なるとわかりました。
- ・世の中にはデマ情報などがたくさんあると今回の学習で学びました。

質問 2「授業全体を通しての感想」

- ・すごく、楽しくて分かりやすい授業でよかった。
- ・一言で言えば、ワクワクしました。理由は、その記事について、どのようにして載せるのかなど、自分たちで考えることがたくさんあってとてもワクワクしました。
- ・時間内にお話をするや、新聞を作ることがスラスラと進んだので良かったです。
今までに知らないことについても知ることができて良かったです。
- ・新聞の作り方や書き方、テーマの選び方など色々新聞についてのことがすごく良くわかりました。
新聞作りはすごく楽しかったです。
- ・とても楽しかったです！でも改めて大変だなと思いました。またやってみたいです。

■ 今回、国語の単元の一部として、その後の授業に繋がる形で横浜市立の小学校の先生と一緒に内容を考えて実行した。そのため、あらたな時間を取ることもなく、かつ、子どもたちのその後の授業へのモチベーションアップにも繋がったと思われる。シティズンシップ教育として、総合の時間などの時間を使って実施することに比べ、単元と関連した形で実施することで、時間の有効活用、及び効果的な授業が実施できた。

■ 新聞づくりを通じて、情報の扱い方、気を使ったほうが良いことを理解し、デジタル機器に関する良い点、課題などの知識を習得することが出来た。



ご清聴ありがとうございました。